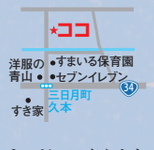
コラムの部屋

心がほっとする時間。。

ココロトカラダノワン“セル”論
～細胞のホンネについて～



あいうら接骨院・鍼灸院 院長 相浦 利孝
佐賀県小城市三日月町堀江57-1／TEL.0952-73-3228

ドイツ出身の建築家が言いました。
「神は細部に宿る」
また、サッカー元日本代表、岡田武史監督も強調しました。
「勝負の神様は細部に宿る」
「良い作品」や「いい結果」を求める場面では、『細部にこだわりなさい』、『決して手を抜いてはいけない』といった力強いメッセージとして受け取る事が出来ると思います。私、あいうら、「細部」にフォーカスするという考え方に共感し、「人」というものの「細部」にこそ、「人間の真理」を見出せるんじゃないか?と考えています。
「人」というものの構成要素は、「心」と「カラダ」です。
先ず、「心」と「カラダ」の大元を辿ります。「心」は、数十兆個の「細胞」から発電・伝播される「電気信号」のネットワークによって生み出される現象です。発露元は「一個一個の細胞」です。「カラダ」も数十兆個の「細胞」が集まり、物体として形造られているので、どの部分を切り取ってフォーカスしても「一個の細胞」に辿り着きます。また、発生学的にも、分裂・分化の始まる前の出発点は「一個の細胞」となっています。「人」というものの大元は「一個一個の細胞」であると言えます。
次に、「人」と「細胞」の活動について。「細胞」の基本活動は、「血流・血行」によって送られて来る「酸素」と「栄養」を利用して「エネルギー」を作り出す事です。この作り出したエネルギーは、基本活動に伴って出るゴミ、「老廃物」を「血流・血行」に排出させる時に使います。「人」で言えば、呼吸で取り込んだ「酸素」と食事で摂取した「栄養」を燃やし、「糞尿・汗」を排泄するエネルギーに変えます。スケールは違えど、「一個一個の細胞」は、「人」とほぼ同じような活動を全身で行っているのです。「人」と「細胞」が行っている活動は、「生きる活動」そのものです。
「人の真理」に近付く為には、「人」の構成要素が「心」と「カラダ」であるとは言え、不確実で曖昧な「心」の部分は要りません。「人」が「心」に振り回され、一喜一憂するにしても、生きているという土台があればこそ。フォーカスした先の「細胞」は、淡々と「生きる活動」しかしていません。
「生きる活動」において、当たり前の話ですが、特に「酸素」が無ければ、すぐに生死を分けるタイミングがやってきます。「細胞」に「酸素」を届けるには、「人」が「呼吸」するしかありません。「酸欠細胞」の集合体は、調子悪そうな「人」です。深めの深呼吸を数発すれば、「酸素充足細胞」の集合体となって、ご機嫌な「人」として入れ替わります。本来、「人」は「酸素」に非常に敏感なのです。ただ、低酸素に慣れがちの鈍感な状態においても適応し、献身的に活動してくれているのが「細胞」たちです。
「細胞」からすると"しようがないかなぁ"とも"まぁいいか"とも思っていないのが「ホンネ」でしょう。我々の中には、ただただ役目をはたすだけの実に神々しい「細胞」たちがたくさん居ます。
「人」というものの「細部」では、「神々しい細胞たちのホンネ」が聞けた気がします。

LINEだけの特典あり!!

SECOND
LINE公式アカウントができました！
アカウントより読者プレゼント応募が可能!
最新情報や、発信中のインスタなど様々な情報を
見ることができます!!お友だち登録、よろしくお願いいたします！

SECONDインスタ
フォロー★よろしく
お願いいたします!!

second.saga_freepaper

SECOND

second_freepaper

家具屋の思い出話

「ヤクルト球団・・つば九郎をしのんで」

Cozy Flat
オーナー 仲 洋史

Cozy Flat
筑後市四ヶ所菅原田460-1
TEL.0942-52-3480
営:10:00～18:30／休:水曜、第2・4木曜
cozyflat5252

なんでこんなところにつば九郎が入ってるの?愛する妻は、バックの中からつば九郎をつまみ出した。そのちっちゃなバットを担いだつば九郎は傘の頭(石突)につけるものだった。知らない人のために言うと、日本プロ野球機構に所属するセリーグの球団「東京ヤクルトスワローズ」の偉大なるマスコットがつば九郎である。球場での応援では点が入った時など東京音頭に合わせ緑や青の小さなビニール傘をさして回す。その傘の上につけるつば九郎のマスコットがあるんだ。それは以前東京から来たヤクルトファンにもらったものだった。試合が終わった後彼は僕の方を振り向いて「これは神宮球場でしか売ってないんですよ。」と言ってプレゼントしてくれた。ヤクルトファンが疎らな福岡ドームでずっと大声で叫んでいたから、いや声は地声で響き渡り目立ったのかもしれなかったが、優しい心遣いが何より嬉しかった。交流戦はセパ、両リーグのチームが1年ごとに本拠地で交流する。去年ソフトバンクと対戦するためにヤクルトがやってきた。それを応援するために行った帰り、リュックに入れたままになっていたんだろう。去年その時はまさかつば九郎がいなくなるなんて思ってもいなかったし、本物に会えただけで嬉しかった。1994年に生まれたつば九郎。妹のつばみは1999年生まれだ。つば九郎のフリップ芸は、人の心を動かし時に感動させる。人柄のなせる技だった。ヤクルトを応援しているがめったにヤクルト戦を見ることはない。交流戦は一年ごとに対戦相手の本拠地で行われるので今年は神宮だったし、2軍戦でも見れるかというと2軍は西と東に分かれて戦うので筑後のファームにイースタンリーグに所属するヤクルトが来ることはない。だから九州でヤクルト戦を見るとすれば2年に一度の交流戦かヤクルトとソフトバンクが勝ち上がった時の日本シリーズとなる。ヤクルトは今セリーグで断トツのビリッケツなのでもう今年は神宮に行かないと見ることはできないだろう。何故僕がヤクルトを応援しているかと言うとその昔ヤクルトスワローズは国鉄スワローズとして誕生しており僕の親父が国鉄職員だった事がその理由となる。福岡ならソフトバンクホークスさ!という皆さん、福岡の球団は源流が西鉄ライオンズであり、ホークスは元は大阪の球団でしたのよと伝えたい。だから今だに所沢に行ってしまったライオンズを応援している福岡のちょっと変な人も見かけるし、とはいえ僕も変な人であることは勿論自負している。しかしスワローズファンはどの球団よりも優しい。年間70敗以上はザラで突然10年振り位に優勝してしまう年以外はずっとビリッケツあたりが定位置なのに慌てないし怒らない。多くの球団がジェット風船を飛ばす時スワローズは東京音頭で傘を回す。紳士的でごみを出さない。では何故傘を広げて回すのか?あまりのファンの少なさに傘を広げて回す事でたくさんいるように見せかけたのが始まりらしい。何と微笑ましく穏やかなことか。愛すべきヤクルトスワローズ。でも正直言うと近頃僕はスワローズより断然「つば九郎」に心を奪われていた。もう一度でいいから、会いたい・見たい…つば九郎。

からだとこころのデトックスサロン

vol.1「わたしの想い」

リンパドレナージュサロン
Sunflower
山中 亜紀
佐賀県小城市三日月町
TEL080-1726-9589

『ひとりでも多くの女性を心と身体から癒やしひまわりのような明るい笑顔にしたい』これが私の想いです。
はじめまして、私は、主人と息子3人の5人家族で、自然豊かな佐賀県小城市で活動しています。理学療法士として14年、地元の病院で勤務してきました。私の住む小城市は高齢者が多く、地域医療・在宅支援に携わってきました。理学療法士は本当にやりがいのある仕事で、まさか自分が違う仕事をするとは考えてもいませんでした。
私がリンパドレナージュと出会ったのは、2人目の育休が終わる1週間前でした。その後、職場に復帰しリンパセラピストとしての活動が思うように出来ませんでした。そして3人目の育休中にリンパセラピストとして活動していくうちに、仕事としてやっていきたいと強く思うようになりました。家族が増え喜びや幸せが増えたと同時に大変さも感じていました。3人目を出産後はコロナ禍であり、産まれてくるものと亡くなっていくものを肌で感じ、自分の今後の人生を見直すきっかけになりました。私が本当にやりたいことって何だろう…。そう考えているうちに、、同じような立場の女性、ママの支援がしたいと考えるようになりました。
そこで、人を癒やす仕事がしたいという思いが強くなり、リンパドレナージュセラピストとしてやっていきたいと決意しました。決意はしたものの、毎日時間に追われる日々…。バタバタしてしまい、笑顔で子供とゆっくり向き合ってあげれる時間がない…。やるべきことがあるのに寝かしつけと同時に眠ってしまう…。そんな日々が続き、自分の心が満たせないまま過ごしてきました…。それでもいろんな人に支えてもらいながら、、同じようなママが笑顔になっている姿、子供たちと楽しそうに触れ合ってる姿を想像しながら、約3年前にサロンをOpenすることを決意することができました。
ママになったら、いろんなことを我慢することが当然だと、これまでは思っていました。今はママの笑顔が家庭を明るくしてくれると確信しており、ママだっていろんなことにチャレンジしていいんだと、強く感じています。心と身体の癒やしを通して、そんな方々のサポートを楽しんでいきたいと思っています。
そして私自身も、ありのままの自分を認め、これからはもっと家族の時間を大切にしていきたいです。きっかけは子育てママの支援がしたい、から始まりましたが、家庭を支えているのはほとんどが女性だと思います。働く女性、さまざまな不調をかかえられてる方、娘さんからお母さんへ・お孫さんから祖母へのプレゼントなど、あなたとあなたの大切な方へ自分を労わり、癒やす時間を提供させて頂きます。
Sunflower(サンフラワー)はひまわりという意味ですが、あなたがひまわりのように明るい笑顔になれば、家庭も明るく笑顔いっぱいになる。家庭が笑顔になれば、地域も笑顔になる。地域が笑顔になれば、日本も笑顔になる。このように、ひまわりのように明るい笑顔が世の中に広がるように一緒に明るい未来を創っていけたらと強く願います。どうぞよろしくお願い致します。